

## 《女川原子力発電所2号機の原子炉設置変更許可申請書に関する審査書案について》

当社は、女川2号機について、2013年12月27日に新規制基準に関する「原子炉設置変更許可申請書」を原子力規制委員会に提出して以降、同委員会による新規制基準への適合性審査を受けてきました。

こうした中、2019年11月27日に開催された原子力規制委員会において、女川2号機の「原子炉設置変更許可申請書」に関する「審査書案」が取りまとめられ、現在、「審査書案」への科学的・技術的意見の募集が行われています。

当社は、これまで全社をあげて審査に真摯かつ丁寧に対応してきましたが、設置変更許可に向けた一つの大きな節目を迎えたものと考えています。

今後とも原子力規制委員会による審査に適切に対応してまいります。

また、新規制基準への適合にとどまらず、より高いレベルでの安全確保に向けて、最新の知見も取り入れながら、安全対策工事を進めるとともに、各種訓練等も含めた運用面からの対策にも着実に取り組んでまいります。

### 新規制基準適合性審査の状況

原子炉設置変更許可 (2013年12月27日申請)



## 《宮城県原子力防災訓練に参加しました》

11月12日、13日の両日、宮城県と女川原子力発電所から30km圏内にある7市町\*が主催する「令和元年度宮城県原子力防災訓練」が実施され、当発電所員をはじめとする当社社員が参加しました。

今回は、宮城県沖にて地震が発生した後、女川原子力発電所2号機において機器の故障により原子炉の冷却機能が喪失し、放射性物質が大気に放出されたという想定のもと、住民避難訓練や原子力災害医療活動訓練などが行われました。

東松島市の鷹来<sup>たかぎ</sup>の森運動公園で行われた訓練では、空間放射線量が高いと想定した地域から避難してきた方々の車両や身体に、放射性物質による汚染がないかを検査する手順について確認しました。

当発電所では、今後とも各種防災訓練を通じて、万が一、原子力災害が発生した場合の対応力向上に努めてまいります。

※女川町、石巻市、登米市、東松島市、涌谷町、美里町、南三陸町



今回の訓練で、私は初めて住民検査チームのリーダーとして参加しました。実際に避難されてきた方々の汚染状況を検査するという緊張感の中、丁寧な検査を心掛けながら、日常の訓練で習得してきた対応手順を確認することができました。今後とも訓練を重ねていくことで、原子力災害時における対応力のレベルアップを図っていきたく改めて感じました。

環境・燃料部 放射線管理グループ  
庄司 真人(利府町出身)



車両の汚染状況を確認



身体の汚染状況を確認



## 《「女川原子力発電所品質月間」の取り組みについて》

当発電所では、業務品質に対する一層の意識の高揚を図るため、毎年11月に全国で開催されている「品質月間」に合わせ、さまざまな取り組みを行っています。

その一環として、11月6日、株式会社安全推進研究所の河野龍太郎所長を講師に招き、発電所員および構内協力企業社員を対象にヒューマンエラー防止に向けた講演会を開催しました。

また、11月22日には「品質月間集会」を開催し、優れた品質管理を行っている協力企業や品質向上の意識を高める標語の優秀作品を表彰しました。最後に参加者全員で表彰された標語を唱和し、品質保証活動のさらなる向上を誓いました。



ヒューマンエラー発生の要因等について解説する  
(株)安全推進研究所の河野龍太郎所長



優秀標語の表彰を受ける  
東北緑化環境保全(株)の遠藤勝彦さん



優秀作品に選ばれた標語を参加者全員で唱和

## 《「東北電カクリスマスドリーム」を開催しました》

11月9日、当発電所は、石巻市立牡鹿中学校体育館において、「東北電カクリスマスドリーム(石巻会場)」を開催しました。本イベントは、1994年から毎年2会場(石巻会場、女川会場)で開催しており、今回で26回目となります。(女川会場は12月15日に開催)

当日は、牡鹿中学校・鮎川小学校・大原小学校・寄磯小学校の生徒および児童約70名がそれぞれの学校の特徴を生かした合唱や合奏、演舞などを披露しました。来場者からは、熱演した生徒、児童に惜しみない拍手が送られました。



「侍ソーラン」を熱演(牡鹿中学校生徒)



ミュージカル「キャッツ」の曲を披露(鮎川小学校児童)

## 《「東北電力図画コンクール」入賞作品決定》

当発電所では、小学生以下の子どもたちを対象とした「東北電力図画コンクール」を毎年開催しており、18回目となる今回は、過去最多となる5,617点もの作品をお寄せいただきました。

最終審査の結果、甲乙つけがたい力作の中から最優秀賞1点、優秀賞7点をはじめとする37点の入賞作品が決定し、12月1日に表彰式を行いました。

なお、一次審査を通過した200点の作品展を来年1月から以下の会場で開催しますので、ぜひお越しください。



入賞した子どもたち

作品展

○女川町庁舎エントランス

期間 1月16日～1月23日

○石ノ森萬画館(石巻市)

期間 3月4日～3月9日

○蔵しっくパーク(東松島市)

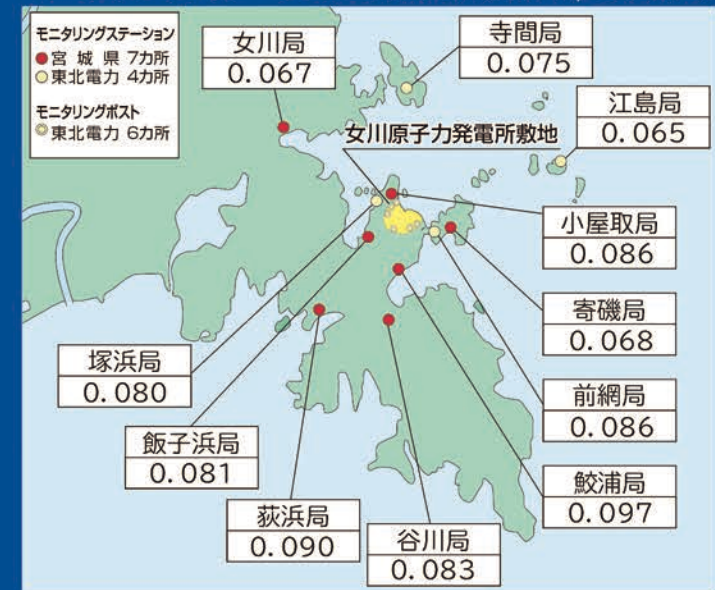
期間 3月12日～3月17日  
(3月16日休館日)

## 《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.047マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。

### モニタリングステーションの測定状況(11/30現在)



単位:マイクロシーベルト/時

### (参考)モニタリングポストの最小値と最大値※3

〈東北地方太平洋沖地震発生日〉	2011年3月11日	0.027～0.064
〈地震発生後最大値〉	2011年3月13日	1.8～21※4
〈地震発生から2年と至近2年の(4/1)値および前月値〉	2012年4月1日	0.063～0.098
	2013年4月1日	0.055～0.076
	?	?
	2018年4月1日	0.037～0.048
	2019年4月1日	0.036～0.051
	2019年11月1日	0.036～0.047
	2019年11月30日	0.035～0.047

単位:マイクロシーベルト/時

※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されています。  
 ※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。  
 ※3 モニタリングポストの測定値は、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響分が含まれないため、モニタリングステーションの測定値より0.02～0.04マイクロシーベルト/時程度低い測定値となっています。  
 ※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。